

## 2021年度 事業計画

全国科学館連携協議会（連携協）は、地域における科学技術普及の拠点である科学館等の連携促進を図り、科学館事業の振興に寄与することを目的として設立され、各種連携活動を展開しています。

2021年度も昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策を講じて活動をおこないます。

### 1. 協議会運営

#### 1-1. 会員管理

加盟館に有用な取り組みや情報を提供し、会員の活動を活性化するとともに、新規入会の促進を図ります。

- ・ホームページ、メールマガジン等による加盟館への情報提供の充実
- ・連携協の活動の周知強化および入会促進の実施

#### 1-2. 会議の開催

##### (1) 第31回全国科学館連携協議会幹事会

開催日：2021年6月17日（水）10:30～11:30

開催方法：オンライン会議

##### (2) 第31回全国科学館連携協議会総会

開催日：2021年6月17日（水）13:30～15:00

開催方法：オンライン会議

### 2. 加盟館連携推進

#### 2-1. 巡回展示物等貸与支援

加盟館に対して、下記25種類の巡回展示物および5種類の実験キット等の貸出募集を行い、日程等を調整し実施協力を行います。

[巡回展]

- ・ 史上初有人宇宙飛行60周年記念にあたって ガガーリン 星への道 ※データ提供  
（企画・制作：ロシア連邦文化科学協力庁）
- ・ 環境DNA博士と、水辺の生き物を調査せよ！（企画・制作：日本科学未来館）
- ・ 新しい感染症との向き合い方『わかんないよね 新型コロナ』 ※データ提供（企画・制作：日本科学未来館）

- ・ 海と生きものとわたしたち ～3.11からの復興をめざして～（企画・製作：東北マリンサイエンス拠点形成事業—海洋生態系の調査研究—Tohoku Ecosystem-Associated Marine Sciences (TEAMS(ティームス))
- ・ アポロ11号から50年 人はなぜ、宇宙をめざすのか ※データ提供（企画・制作：日本科学未来館）
- ・ 急変する北極が世界にもたらす影響と日本の北極研究の取組み—Our activity in the Arctic— ※データ提供（企画・制作：北極域研究推進プロジェクト (ArCS) )
- ・ こちら「はやぶさ2」運用室 漫画版（企画・制作：JAXA）
- ・ 金星探査機「あかつき」（企画・制作：JAXA）
- ・ いのちってなに？（企画・製作：農研機構）
- ・ 星座展～ギリシャ神話からキトラ古墳まで～（企画・製作：明石市立天文科学館）
- ・ ケミカルパズル&ケミカルすごろく—化学物質と上手につきあおう！—（企画・製作：環境省）
- ・ 潜水調査船がみた深海生物（企画・製作：JAMSTEC）
- ・ 星の衝突で、何ができた？ ※データ提供（企画・制作：日本科学未来館）
- ・ Lesson#3.11 7年目の選択 ※データ提供（企画・製作：日本科学未来館）
- ・ 「錯視」で生活に潤いを（企画・製作：静岡科学館）
- ・ SDGs（持続可能な開発目標）クイズボード（企画・製作：JICA）
- ・ 日本の宇宙科学の歴史（2017年改訂）（企画・製作：JAXA）
- ・ Lesson#3.11 学びとる教訓とは何か ※データ提供（企画・製作：日本科学未来館）
- ・ 62の「月」が織りなす多彩な世界—土星探査機「カッシーニ」が見たリングと衛星群— ※データ提供（企画・制作：日本科学未来館）
- ・ 2014年ノーベル賞 ※データ提供（企画・制作：日本科学未来館）
- ・ 2015年ノーベル賞 ※データ提供（企画・制作：日本科学未来館）
- ・ 2016年ノーベル賞 ※データ提供（企画・制作：日本科学未来館）
- ・ 2017年ノーベル賞 ※データ提供（企画・制作：日本科学未来館）
- ・ 2018年ノーベル賞 ※データ提供（企画・制作：日本科学未来館）
- ・ 2019年ノーベル賞 ※データ提供（企画・制作：日本科学未来館）

#### [実験キット]

- ・ 実験キット「教育ブロック IQ KEY【ギアチェンジ！レーシングカー！】」（企画・製作：合同会社サイエンスシーズ）
- ・ 実験キット「顔の記憶」（企画・製作：日本基礎心理学会）
- ・ 実験キット「マッスル・センサー」（企画・製作：生理学研究所、JST）
- ・ 実験キット「スマホ顕微鏡で植物プランクトンを観察してみよう」（企画・製作：日本科学未来館）
- ・ 実験キット「超伝導」（企画・製作：日本科学未来館）

## 2-2. 事業に対する後援、メッセージ配信

加盟館および関係機関が実施する事業で、連携協の設立趣旨に合致する事業に対し、後援や協力および会長メッセージの提供を行います。

## 2-3. ブロック活動

ブロック内での加盟館の交流を深め、リソース（人、展示物、情報など）の情報共有・相互補完等、良好な関係を構築するためのブロック会議を実施します。開催に際しては、感染拡大防止の対策を講じた実施方法を各ブロックにて検討いただきます。実施後に各ブロックからの申請内容を確認し助成金の支払いを行います。

## 2-4. 国内科学館研修

加盟館に共通する課題や活動成果について発表および協議し、加盟館の活動の一層の充実を図るため、国内科学館研修を実施します。実施については、感染症拡大防止のためオンラインで開催します。

開催日：2021年度内に2回程度を実施予定

開催方法：オンライン会議

対象：正会員、協力会員、協賛会員

テーマ：新設およびリニューアル館の視察

協力：青森県立三沢航空科学館、港区立みなと科学館（予定）

※新規開館やリニューアルされた科学館の見所をオンラインで視察し、展示制作にあたっての工夫や加盟館との連携の可能性などについて意見交換します。

## 2-5. 海外科学館研修

海外の科学館等における取り組み等を調査し、加盟館における運営、展示、教育プログラム等の充実を図るため、海外科学館の取り組みに触れる研修を実施します。新型コロナウイルス感染症の状況をふまえ渡航を伴う研修は中止しオンラインで開催します。

開催日：2021年度内に1回程度を実施予定

開催方法：オンライン会議

対象：正会員、協力会員、協賛会員

テーマ：情報交換と学び合いを目的としたオンラインセッション（案）

## 2-6. 相互人材交流事業

各加盟館がもつノウハウやスキルを相互に学び合う機会を創出し、更にスタッフのスキルアップや科学館同士の連携活動に繋げることを目的に、館の垣根を越えた相互人材交流を実施します。県をまたぐ移動や1週間他県に滞在する人材交流については、新型コロナウイルス感染症の状況をふまえ実施希望者と調整しながら決定します。

## 2-7. 新規巡回展示物・データ提供展示物制作への支援

巡回展の更なる活性化を目指し、加盟館による巡回展示物制作を支援する活動を行います。事前に各加盟館の持つリソース（人材・機材・施設等）や得意分野についてのアンケート調査を実施し、各加盟館の特徴を活かした巡回展示物の共同開発を促進します。

## 3. 協賛事業

### 3-1. 協賛物品等

協力会員、協賛会員、外部機関からの協賛については、加盟館にとってメリットのある形で協賛金、協賛物品・貸与品、イベント情報等を積極的に展開します。

[協賛物品等]

協賛会員のマブチモーター株式会社より協賛を得て、加盟館に対してモーターの提供を行います。また、提供物品のほか、協賛品の活用事例などの情報も共有します。

### 3-2. 白川英樹博士特別実験教室全国展開事業

白川英樹博士と日本科学未来館が共同開発した、導電性プラスチックの合成と応用に関する実験教室2教室（「二次電池への応用」「透明フィルムスピーカーへの応用」）について、企業の協賛のもと全国展開する事業です。昨年度の実施予定について感染症拡大防止の観点から2021年度へ延期していましたが、感染症の状況を踏まえ、もう1年実施を延期します。

- ・「導電性プラスチックを作ろう！透明フィルムスピーカーへの応用」

実施館：体験型子ども科学館 O-Labo（大分県大分市）

協 賛：株式会社クレハ

- ・「導電性プラスチックを作ろう！二次電池への応用」

実施館：京都市青少年科学センター（京都府京都市）

協 賛：旭化成株式会社

以上